

新型コロナウイルス感染症

冬の職場での感染症対策

令和2年2月度

衛生委員会資料

産業医 西川菜摘

コロナウイルスとは

- 発熱や上気道症状を引き起こすウイルスで、ヒトに感染するのは6種類ある。
- 一般の風邪の原因になるが、重症化傾向のあるコロナウイルスもこれまでに確認されている。

中東呼吸器症候群（MERS）や重症急性呼吸器症候群（SARS）

新型コロナウイルスとは

- 中華人民共和国湖北省武漢市で令和元年12月に発症・報告された肺炎の原因となる新種のウイルス。
- ヒトからヒトへの感染が認められている。
- 肺炎の重症化で死亡した例が報告されている。
- インフルエンザウイルスのようなワクチンや抗ウイルス薬といった特異的な予防法・治療法は現在のところ確立していない。

指定感染症とは

- 感染症法（感染症の予防や感染症患者の医療措置に関する法律）に定められた以外で、危険性が高いと判断された場合に、政令によって指定され対応がなされる感染症。
- 患者および感染が疑われる者の入院措置が可能となり医療費は公費で負担される。
- 2020年1月28日に政府が新型コロナウイルスによる肺炎を「指定感染症」として閣議決定した。
- 指定感染症に罹患すると、指定医療機関への強制入院や就業制限、感染症患者在りた場所の消毒など各種措置が求められる。

感染ルート

- ヒトからヒトに感染する。
- 潜伏期間（感染しても症状が出ていない期間）は最大 2 週間と考えられている。
- 感染経路は主に 2 つとされる。
 - 飛沫感染：ウイルスを含んだ咳やくしゃみが他の人の鼻や口に入ることによってウイルスが侵入する。
 - 接触感染：咳やくしゃみのついた手が触れた周囲の物を他の人が触ることによってその人の鼻や口からウイルスが侵入する。

予防法は

- 一般的な対策として風邪やインフルエンザと同様の対策が必要。
- 手洗い、うがい、アルコール消毒、マスク着用、咳エチケット

※マスクが品薄であるとの報道もあるが、マスク着用でウイルス侵入を完全に防ぐことはできない（N95マスクでも同様）。

手洗い・うがいを習慣づけることが安価で最も有効な予防法と考えられる。

勤務中など頻回の手洗いやうがいが難しい場合は、携帯のアルコール消毒薬を利用する、水やお茶をこまめに飲むことで喉に付着したウイルスを食道・胃に洗い流し、気道に感染させない。

検査や治療を受けるには

- 湖北省からの帰国・入国者やそういう方との接触者で発熱や石などの症状がある方は、まず保健所に連絡をして受診できる医療機関を問い合わせる。
- 湖北省の渡航歴や接触歴はなく、発熱などの症状がある方は近くの医療機関を受診する。